

詩のリズムあそび

なまえ〔 〕

1、次の詩は ^{たにかわしゅんたろう}谷川俊太郎 さんの詩ですが、もとの ^{ことば}言葉を、
わざとくぎらないで、^か書いてあります。

どこでくぎってよめばいいのでしょうか。／ ^{かきい}を書き入れて、くぎって
みましょう。

かっぱかっぱらったかっぱらっぱかっぱらったとって

ちってたかっぱなっぱかったかっぱなっぱいっぱかっ

たかつてきってくった

文はいくつありますか。「。」でおわるひとまとまりを、「文」と言
います。

2、また、この詩の ^し題 ^{だいいい}名は何だと思いませんか。

3、下のそれぞれの文は、どんな様子ようすをあらわしているのでしょうか。
意味いみのわかる文に直なおして()に書かき入いれましょう。

『かっぱ』

たにかわしゅんたろう
谷川俊太郎

かっぱかっぱらった

()

かっぱらっぱかっぱらった

()

とってちってた

()

かっぱなっぱかった

()

かっぱなっぱいっぱかった

()

かってきってくった

()

『かっぱ』

たにかわしゅんたろう
谷川俊太郎

かっぱかっぱらった

(カッパが、ぬすんだ。)

かっぱらっぱかっぱらった

(カッパが、ラッパをぬすんだ。)

とってちってた

(トッテチッテター！)



かっぱなっぱかった

(カッパが、^な菜^ばっ^か葉を買った。)

かっぱなっぱいっぱかった

(カッパが、いっ^なぱい^ば菜^かっ^か葉を買った。)

かってきってくった

(買って、切って、食った。)



* ()の中だけ、はじめから読^よんでみましょう。

4、グループに分かれて、リズムよく(四拍子のリズムで)、読んでみましょう。

かっぱ

谷川俊太郎

(A) もとの詩

かっぱ	かっぱ	らった	(トン)
かっぱ	らっぱ	かっぱ	らった
とって	ちって	た(あ)	(トン)
かっぱ	なっぱ	かった	(トン)
かっぱ	なっぱ	いっぱ	かった
かって	きって	くった	(トン)

(B)

かっぱ	かっぱ	かっぱ	(トン)
らった	らった	らった	らった
かっぱ	かっぱ	かっぱ	(トン)
なっぱ	なっぱ	なっぱ	(トン)
かった	かった	かった	かった
なっぱ	なっぱ	なっぱ	(トン)

(C)

とって	ちって	とって	ちって
とって	ちって	とって	ちって
とって	ちって	た(あ)	(トン)
かって	きって	かって	きって
かって	きって	かって	きって
かって	きって	くった	(トン)

* 読むところをこうたいして、読^よんでみましょう。

5、他^{ほか}にも自分^{じぶん}でいろんな「リズムことば(音)」を考^{かんが}えて、友だちとリズムを合^あわせて、読^よんでみましょう。

(D)
